

平成 17 年 3 月 3 日

地区WCS委員会 御 中

藤井寺しゅらロータリークラブ
WCS 委員長 吉田 元彰



「バングラデシュに安全な水のための井戸を贈るWCSプロジェクト」報 告

地区の皆様には、何かとお世話になり有り難うございました。

今年度国際ロータリー会長は、「水の問題」を大きなテーマとして積極的に取り組まれておられます。当クラブは、バングラデシュの人々の生活に少しでもお役に立てれば・・・と。

昨年度安全な水のための井戸を、2つの村にそれぞれ1基ずつ贈りました。今年度も引き続きバングラデシュに井戸を贈るプロジェクトを、WCS事業として推進しました。このプロジェクトは、アジア18カ国に5カ所の提携団体を持つ(社)アジア協会 アジア友の会(JAFS)を通じ、現地の提携団体AFSダッカが直接具体的に進めております。

ご承知の如く、バングラデシュは国土の3/4が土壌汚染地域とされており、特にヒ素中毒者が増大しております。生活上の様々な困難は、水に起因するといわれております。当クラブはその観点に立ち、折々にアジア協会の方より「アジアの水事情」、またこの2月24日には「アジアの生活とスマトラ沖地震緊急支援」の卓話をしていただき、勉強させていただいております。水を通じて種々考えさせられる点が多くありました。

今回贈る井戸は、一般的な10メートルの井戸ではなく、安全な水を確保できる深さ30メートルのポンプ式の井戸です。費用は、1基につき建設費+5年間の維持費で15万円となります。当初より広くご支援を募ってまいりました。お陰様で、9月には和泉南RC様はその声を上げて下さいました。11月16日には、IM5組ホストクラブ藤井寺RC様が、南輪会の各クラブへ協力の声かけをして下さり、12月19日に、アジア協会に5基分の目録を贈呈しました。現地での工事の都合もあり、皆様のご協力を得てまず1月31日に4基分の費用を、あと1基分はファンドの関係上2月22日に振り込みました。最終的には嬉しいことに5基の井戸を贈ることが出来ることとなりました。

井戸の内訳は

- 藤井寺RC、太子RC、大阪狭山RCで1基

- 河内長野東RC、和泉南RCで1基
- 羽曳野RCで1基
- 河内長野RCで1基
- 藤井寺しゅらRCで1基

となっております。

現地では、雨期の前に工事を進める由です。河内長野RCの分は、ファンドの時期の関係で少し手続きが遅れそうです。アジア協会様には、各クラブ様に今後の予定等の連絡をしていただく予定でおります。もちろん完成時には、写真付きの報告書が各クラブに届けられます。バングラデシュの具体的な場所がわかりましたら、またご報告させていただきます。

まずは経過並びにファンドのご報告をさせて頂きました。今後ともよろしくご指導のほどお願い申し上げます。